

GT01にてPLCの時計データを参照にする場合、三菱FX2Nの時計データの入っている特殊レジスタD8013～D8019を直接指定する事はできません。取り込むデータ形式は下記のようになりますので予めPLC側のプログラムでデータ変換をして置いてください。

【FX2Nの変換例】

例: D100を参照先頭デバイス指定する場合

データはBCD形式データでPLCのデータレジスタから読み込まれます。

- ・01年7月11日14時21分59秒 水曜日では、
- D100→h2159→分秒(BCDデータ)
- D101→h1114→日時(BCDデータ)
- D102→h0107→年月(BCDデータ)
- D103→h0003→曜日(BCDデータ)

曜日:h0000→日曜日

h0001→月曜日

h0002→火曜日

h0003→水曜日

h0004→木曜日

h0005→金曜日

h0006→土曜日

従ってD8013～D8019のデータを一旦読み込みたい参照デバイス(例ではD100～D103)にPLCのプログラムにより置き換えてください。

- D8013→59→秒(BINデータ)
- D8014→21→分(BINデータ)
- D8015→14→時(BINデータ)
- D8016→11→日(BINデータ)
- D8017→7→月(BINデータ)
- D8018→1→年(BINデータ)
- D8019→3→曜日(BINデータ)

↓データ変換

FNC13(SMOV) 転送命令を用いて

D200の下位8ビットへD8013の値を転送

D200の上位8ビットへD8014の値を転送

D201の下位8ビットへD8015の値を転送

D201の上位8ビットへD8016の値を転送

D202の下位8ビットへD8017の値を転送

D202の上位8ビットへD8018の値を転送

FNC18(BCD) BCD変換命令を用いて

D200の値をBCDに変換してD100へ格納

D201の値をBCDに変換してD101へ格納

D202の値をBCDに変換してD102へ格納

D8019の値をBCDに変換してD103へ格納

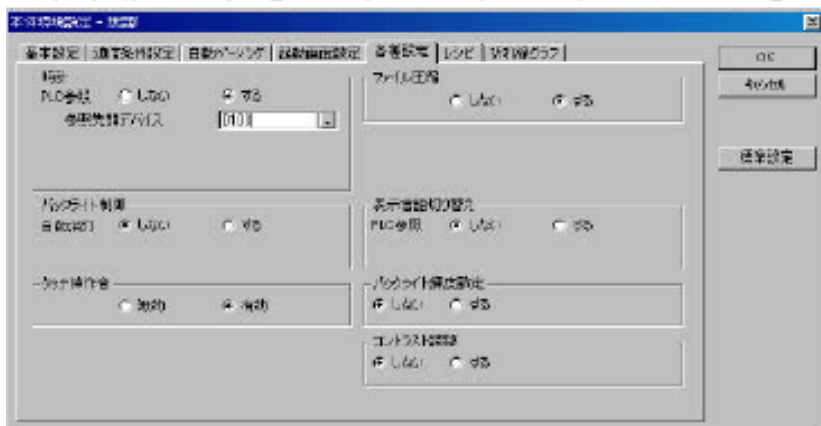
↓データ変換後格納

- D100→h2159→分秒(BCDデータ)
- D101→h1114→日時(BCDデータ)
- D102→h0107→年月(BCDデータ)
- D103→h0003→曜日(BCDデータ)

作成日:2014/11/12

【GT01の設定例】

本体環境設定で時計をPLC参照するに設定し、参照先頭デバイスをD100にします。



Clock 部品を選びベース画面に貼り付けてから、それぞれ
 年→YY
 月→MM
 日→DD
 曜日→TTT
 時→HH
 分→mm
 秒→SS
 に属性編集で設定してください。

